

第 1 2 章 衛生検査事業

1 衛生検査事業

- 目 的 食の安心・安全及び感染症の拡大の防止等、衛生検査を実施することにより住民の健康上の安全を図る。
- 内 容 市が主体となり計画・実施する行政検査と、住民からの依頼により実施する依頼検査がある。当課で対応可能な検査項目は下記のとおりである。

検査項目一覧

種 類		主な検査項目
行政検査	食品衛生監視指導計画に基づく検査	・微生物 一般細菌、黄色ブドウ球菌、<i>E. coli</i>、大腸菌群、腸炎ビブリオ、サルモネラ属菌、クロストリジウム属菌 ・理化学 食品添加物、残留動物用医薬品、残留農薬等
	食中毒関連検査	・細菌 病原大腸菌、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、カンピロバクター、ウェルシュ菌、セレウス菌、赤痢、コレラ等 ・ウイルス ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス、A型肝炎、E型肝炎等 ・寄生虫 アニサキス ・理化学 ソラニン、ヒスタミン等
	感染症検査	・三類感染症 腸管出血性大腸菌、コレラ、腸チフス、パラチフス、赤痢 ・四類感染症 A型肝炎、E型肝炎、デング熱、レジオネラ症、エムボックス ・五類感染症 麻しん、風しん、感染性胃腸炎（ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、アストロウイルス）、急性呼吸器感染症（19項目）、インフルエンザ（亜型・系統同定）、新型コロナウイルス感染症（ゲノム解析）
	結核検査	・IGRA検査
	健康食品の検査	・痩身成分 ・強壮成分
	家庭用品の検査	・ホルムアルデヒド等
	環境水等の水質検査	・レジオネラ属菌等
依頼検査	性感染症検査	・HIV、B型肝炎、C型肝炎、梅毒 ・HTLV-1

事業根拠 食品衛生法第 6 条、第 25 条、第 26 条、第 28 条、第 58 条
 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 15 条、第 17 条、第 18 条
 公衆浴場法第 6 条
 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律第 4 条、第 6 条
 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針
 肝炎対策の推進に関する基本的な指針
 性感染症に関する特定感染症予防指針

2 令和6年度検査実施状況

(1) 行政検査

1) 食品衛生監視指導計画に基づく検査

ア 食品収去等検査（微生物）

5 検体延べ 5 項目の検査を行った。基準値を超える検体はなかった。

食品収去等検査数（微生物）

食品分類 検査項目	清涼飲料水	計
検体数	5	5
項目数	5	5
細菌数	－	－
大腸菌群	5	5
<i>E. coli</i>	－	－
腸炎ビブリオ最確数	－	－
黄色ブドウ球菌	－	－
サルモネラ属菌	－	－
クロストリジウム属菌	－	－

イ 食品収去等検査（理化学）

45 検体延べ 2,751 項目の検査を行った。基準値を超える検体はなかった。

食品収去等検査数（理化学）

食品分類 検査項目	菓子類	魚介乾製品	清涼飲料水	品魚介類および加工	食肉	野菜・果実	計
検体数	6	5	5	4	20	5	45
項目数	35	25	25	109	940	1,617	2,751
保存料	18	15	15	6			54
甘味料	12	10	10	4			36
発色剤				2			2
TBHQ	5						5
動物用医薬品				97	940		1,037
残留農薬						1,617	1,617

2) 食中毒関連検査

食中毒疑いに関する検査を実施した。

検査実績は下記表「食中毒関連検査数」のとおり。

食中毒関連検査数

検体種類	検体数
便検体	55
拭き取り検体	5
食品検体	1
便検体	55

検査項目	検体数	陽性数	検出菌等(陽性数)
赤痢	19	0	
サルモネラ	19	0	
腸炎ビブリオ	19	0	
コレラ	19	0	
カンピロバクター	26	3	<i>C. jejuni</i> (3)
黄色ブドウ球菌	19	2	<i>sea</i> 保有株(1) <i>sea, sed, see</i> 保有株(1)
ウェルシュ菌	19	0	
セレウス菌	19	0	
病原性大腸菌	19	0	
ノロウイルス	61	20	GⅠ (8) GⅡ (12)
アニサキス	0	0	

3) 感染症検査

ア 感染症検査

感染症法に基づく腸管出血性大腸菌や感染性胃腸炎、麻しん等の検査を実施した。検査実績は下記表「感染症検査数」のとおり。

感染症検査数

検査項目	検体数	陽性数	検出菌等(陽性数)
腸管出血性大腸菌	47	6	0157 VT1VT2(3) 0128 VT1VT2(3)
レジオネラ属菌	3	2	<i>L. pneumophila</i> SG1(2)
ノロウイルス	9	6	GⅡ (6)
サポウイルス	9	2	
ロタウイルス	9	2	A 群(2)
アデノウイルス	9	0	
アストロウイルス	9	0	
麻しん	33	4	D8(4)
風しん	33	0	

イ 新型コロナウイルスゲノム解析

令和4年11月から越谷市立病院より新型コロナウイルスの検体を譲り受け、市独自のゲノム解析サーベイランス体制を構築した。令和6年度の実施検体数は367件であった。

ウ 急性呼吸器感染症 サーベイランス

令和6年2月27日から定点医療機関より提供された検体を用いて、急性呼吸器感染症（インフルエンザ等19項目）のサーベイランスを開始した。令和6年度の実施検体数は174件であった。検査実績は下記表「急性呼吸器感染症 サーベイランス陽性数」のとおり。

急性呼吸器感染症 サーベイランス陽性数

検査項目	陽性数
インフルエンザウイルスA (H1N1) pdm09亜型	20
インフルエンザウイルスA/H3亜型	5
インフルエンザウイルス ビクトリア系統	5
新型コロナウイルス	53
ヒトコロナウイルスOC43	3
エンテロウイルス	4
アデノウイルス	3
ヒトパレコウイルス	2
ライノウイルス	9
RSウイルス (サブグループA)	4
RSウイルス (サブグループB)	2
ヒトメタニューモウイルス	6
パラインフルエンザウイルス3型	7
ヒトボカウイルス	2
肺炎マイコプラズマ	3

4) 結核検査

結核患者の家族及び同居者並びに患者の接触者を対象として、IGRA検査（インターフェロン- γ 遊離試験）を203検体実施した。陽性数は17件であった。

結核検査数

検査項目	検体数	陽性数
IGRA検査	203	17

5) 健康食品の検査

痩身用健康食品及び強壮用健康食品計 10 検体において、含有の疑われる医薬品成分の検査を行った。検査項目は下記表「健康食品の検査数」記載の 30 項目(痩身用 21 項目、強壮用 11 項目。重複あり)で、医薬品成分を検出した検体はなかった。

健康食品の検査数

	検査項目	検体数	検出数
痩身成分	フェンフルラミン	10	0
	N-ニトロソフェンフルラミン		
	シブトラミン		
	デスメチルシブトラミン		
	マジンドール		
	オリスタット		
	グリベンクラミド		
	ピオグリダゾン		
	フロセミド		
	ビサコジル		
	フェノールフタレイン		
	フェントラミン*		
	トルブタミド		
	アセトヘキサミド		
	スピロノラクトン		
	ヨヒンビン*		
	ヒドロクロロチアジド		
	フルオキセチン		
	プロプラノロール		
	グリメピリド		
	マグノフロリン		
強壮成分	シルデナフィル	10	0
	タダラフィル		
	バルデナフィル		
	ホンデナフィル		
	ヒドロキシホモシルデナフィル		
	ホモシルデナフィル		
	キサントアントラフィル		
	チオキナペリフィル		
	イカリイン		
	フェントラミン*		
	ヨヒンビン*		

*重複成分

6) 家庭用品の検査

繊維製品 18 検体(乳幼児用 14 検体、その他 4 検体)のホルムアルデヒドの検査を行った。基準値を超える検体はなかった。

家庭用品の検査数

検査項目	検体数	不適数
ホルムアルデヒド	18	0

7) 環境水等の水質検査

レジオネラ症発生源の調査として、浴槽水の検査を実施しているが、令和 6 年度は検査を実施しなかった。

環境水等の水質検査数

検査項目	検体数	不適数
レジオネラ属菌	0	0

(2) 依頼検査

1) 性感染症検査

通常検査（H I V、B 型肝炎、C 型肝炎及び梅毒）の検査依頼は 112 名であり、陽性数は梅毒 6 件であった。即日検査（H I V 及び梅毒）の検査依頼は 154 名であり、陽性数は H I V 1 件、梅毒 8 件であった。

性感染症検査数（通常検査）

検査項目	検体数	陽性数
H I V	102	0
B 型肝炎	108	0
C 型肝炎	103	2（判定保留）
梅毒	103	6

性感染症検査数（即日検査）

検査項目	検体数	陽性数
H I V	152	1
梅毒	153	8

2) H T L V - 1 検査

越谷市 H T L V - 1 検査・相談事業に基づき、2 件の検査依頼があった。陽性の検体はなかった。

H T L V - 1 検査数

検査項目	検体数	陽性数
H T L V - 1	2	0

3 令和6年度精度管理実施状況

食品収去検査において検査の信頼性を確保するため、「越谷市食品衛生検査施設等における外部精度管理調査実施要領」及び「越谷市食品衛生検査施設等における精度管理実施要領」に従い、外部精度管理調査の参加及び内部精度管理を実施した。なお、内部精度管理は、検査の都度実施する精度管理（検査時）及び定期的に実施する精度管理（技能評価）を行った。

食品以外の各検査においても、外部精度管理調査への参加及び内部精度管理を実施した。

(1)外部精度管理

食品収去検査（理化学、微生物）、性感染症検査、感染症検査、環境水検査、結核検査に関して、延べ10件15項目を実施した（表1）。

表1 外部精度管理実施状況

検査区分	実施月	実施機関	検体	検査項目
性感染症検査	6月	日本臨床衛生検査技師会	血清	HBs 抗原・HCV 抗体・TP 抗体
食品収去検査 (理化学)	7月	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	果実ペースト	ソルビン酸
食品収去検査 (微生物)	7月	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	ゼラチン基材	一般細菌数
感染症検査	7月	国立感染症研究所	RNA	麻しん・風しんウイルス遺伝子解析
食品収去検査 (理化学)	9月	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	ほうれんそうペースト	残留農薬3種
食品収去検査 (微生物)	9月	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	マッシュポテト	黄色ブドウ球菌
食品収去検査 (理化学)	10月	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	豚肉(もも)ペースト	動物用医薬品 (スルファジミジン)
感染症検査	10月	国立感染症研究所	菌株	コレラ菌
環境水検査	10月	令和6年度厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業 「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」(UHHSA)	LENTICULE ディスク	レジオネラ属菌
結核検査	2月	特定非営利活動法人結核感染診断研究会事務局	コントロールパック (凍結乾燥品)	IFN- γ

(2)内部精度管理

食品収去検査（理化学、微生物）に関して、延べ 3 件 3 項目の精度管理（技能評価）実施した（表 2）。いずれも評価は適であった。

表 2 内部精度管理実施状況

検査区分	実施月	実施機関	検体	検査項目
食品収去検査 (理化学)	12月	信頼性確保部門	果実ペースト	ソルビン酸
食品収去検査 (微生物)	1月	信頼性確保部門	枯草菌芽胞液	一般細菌数
食品収去検査 (理化学)	2月	信頼性確保部門	豚肉(もも)ペースト	スルファジミジン

4 調査研究等

研究協力

「食品衛生検査施設等の検査の信頼性確保に関する研究」のサルモネラ属菌検査の外部精度管理調査研究

「麻疹風疹排除に資する持続可能なサーベイランスに関する研究」
令和 6 年度AMED医療研究開発推進事業費補助金, 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

「RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究」
日本医療研究開発機構研究費補助金, 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

過去の調査研究等

2023年度(令和5年度)

坂田恭平:

中核市保健所衛生検査施設における新型コロナウイルス感染症検査に係わる総括, 第 82 回日本公衆衛生学会総会・ポスター発表(茨城県), 2023 年 10 月・11 月.

坂田恭平, 今井大貴, 丸山裕太, 古井悠賀, 田村彩, 藤田和昭:

腸管出血性大腸菌 O157 患者との接触者に O157、O26 混合感染が認められた事例について, 第 25 回埼玉県健康福祉研究発表会・誌上発表(埼玉県), 2024 年 1 月.

今井大貴, 坂田恭平, 古井悠賀, 藤田和昭:

遺伝子解析による衛生害虫の同定について, 第 25 回埼玉県健康福祉研究発表会・口頭発表(埼玉県), 2024 年 1 月.

古井悠賀, 坂田恭平, 今井大貴, 古田葉子, 藤田和昭:

腸管出血性大腸菌 検査・診断マニュアルの改訂にともなう陰性確認方法の検討について, 第 35 回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会・口頭発表(群馬県), 2024 年 2 月.

2022年度(令和4年度)

丸山裕太¹, 田村彩¹, 大坂郁恵², 高橋邦彦¹, 藤田和昭¹ ¹越谷市衛生試験所, ²埼玉県衛生研究所:

微量のマグノフロリンが検出された「いわゆる健康食品」の検査について, 令和 4 年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第 35 回理化学研究部会総会・研究会・誌上発表(Web開催), 2023 年 2 月.

2021年度(令和3年度)

田村彩, 大門拓実, 丸山裕太, 高橋邦彦, 藤田和昭:

二酸化硫黄の基準超過事例について, 第 58 回全国衛生化学技術協議会・誌上発表(Web開催), 2022 年 11 月.

2020年度(令和2年度)

大門拓実, 立岡秀, 高橋邦彦, 濱田佳子:

三層分離抽出を利用した食肉および水産物中の動物用医薬品迅速一斉分析法の検討, 食品衛生学雑誌, 61,95-102(2020).

坂田恭平, 清水加奈子, 古井悠賀, 田村彩, 大門拓実, 戸川洋子, 濱田佳子:

越谷市保健所衛生検査課における新型コロナウイルス感染症の検査結果の考察, 第 22 回埼玉県健康福祉発表会抄録・誌上発表(埼玉県), 2021 年 3 月.

2019年度(令和元年度)

大門拓実, 齋藤恭子, 高橋邦彦, 濱田佳子:

LC-MS/MS を用いた食品中のサイクラミン酸迅速分析法の妥当性確認, 食品衛生学雑誌, 60(3), 68-72(2019).

千葉雄介^{1,2}, 坂田恭平¹, 古井悠賀¹, 田村彩¹, 濱田佳子¹, 高橋邦彦¹ ¹越谷市衛生試験所

²埼玉県衛生研究所: Multiplex Loop-Mediated Isothermal Amplification 法による *Campylobacter jejuni/coli* の鑑別法の開発, 日本食品微生物学会雑誌, 36(1), 47-52 (2019).

坂田恭平, 古井悠賀, 田村彩, 大門拓実, 戸川洋子, 濱田佳子:

食品の大腸菌群検査における完全試験用乳糖ブイヨン発酵管の組成について, 平成 31 年度食品衛生監視員等研修会抄録・口頭発表(埼玉県), 2019 年 6 月.

大門拓実, 立岡秀, 高橋邦彦, 濱田佳子:

三層分離抽出を利用した畜水産物中の動物用医薬品迅速一斉分析法の検討, 日本食品衛生学会第 115 回学術講演抄録・ポスター発表(東京都), 2019 年 10 月.

田中萌子¹, 大門拓実², 竹内翔太¹, 村田勇¹, 井上裕¹, 金本郁男¹

¹城西大学薬学部 ²越谷市保健所衛生検査課: 六君子湯含有成分とその代謝物の食欲および悪心嘔吐に対する作用と薬物動態学的特徴づけ, 第 29 回日本医療薬学会年会抄録・ポスター発表(福岡県), 2019 年 11 月.

石井里枝¹, 山元 梨津子¹, 大坂 郁恵¹, 吉田 栄充¹, 井上 裕子², 大門 拓実³, 高橋 京子⁴, 近藤 貴英⁵, 笹本 剛生⁶ ¹埼玉県衛生研究所, ²埼玉県春日部保健所, ³越谷市衛生試験所, ⁴横浜市衛生研究所, ⁵さいたま市健康科学研究センター, ⁶東京都健康安全研究センター:

電子天びんの内部校正及び不確かさ算出の検討, 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会抄録・ポスター発表(広島県), 2019 年 11 月.

吉田 栄充¹, 山元 梨津子¹, 大坂 郁恵¹, 井上 裕子², 大門 拓実³, 高橋 京子⁴, 近藤 貴英⁵, 笹本 剛生⁶, 石井里枝¹ ¹埼玉県衛生研究所, ²埼玉県春日部保健所, ³越谷市衛生試験所, ⁴横浜市衛生研究所, ⁵さいたま市健康科学研究センター, ⁶東京都健康安全研究センター:

ボトムアップ方式を用いた放射性セシウム検査における不確かさの推定, 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会抄録・ポスター発表(広島県), 2019 年 11 月.

大坂 郁恵¹, 山元 梨津子¹, 井上 裕子², 吉田 栄充¹, 大門 拓実³, 高橋 京子⁴, 近藤 貴英⁵, 笹本 剛生⁶, 石井里枝¹ ¹埼玉県衛生研究所, ²埼玉県春日部保健所, ³越谷市衛生試験所, ⁴横浜市衛生研究所, ⁵さいたま市健康科学研究センター, ⁶東京都健康安全研究センター:
トップダウン方式による不確かさ算出方法の検討, 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会抄録・ポスター発表(広島県), 2019 年 11 月.

坂田恭平¹, 千葉雄介², 古井悠賀¹, 田村彩¹, 濱田佳子¹, 高橋邦彦¹

¹越谷市衛生試験所 ²埼玉県衛生研究所:

Multiplex LAMP 法を用いた

Campylobacter jejuni/coli の鑑別方法の検討と食品検体への応用, 第 40 回日本食品微生物学会学術総会講演要旨集(71)・口頭発表(埼玉県), 2019 年 11 月.

田村彩, 坂田恭平, 戸川洋子, 濱田佳子:
大腸菌の O 抗原合成遺伝子検査法の導入の検討, 第 21 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県), 2020 年 1 月.

大門拓実(研究協力者):

食品衛生検査を実施する試験所における品質保証システムに関する研究, 令和元年度厚生労働科学研究費補助金研究, 食品の安全確保推進研究事業.

2018 年度(平成 30 年度)

坂田恭平, 千葉雄介*, 古井悠賀, 田村彩, 濱田佳子, 高橋邦彦 *埼玉県衛生研究所:

Multiplex LAMP 法を用いた

Campylobacter jejuni/coli の鑑別方法の検討と食品検体への応用, 平成 30 年度食品衛生監視員等研修会抄録・口頭発表(埼玉県), 2018 年 6 月.

大門拓実, 古井悠賀, 齋藤恭子, 長浜善行, 高橋邦彦, 濱田佳子 *埼玉県衛生研究所: LC-MS/MS を用いた農産物中の残留農薬一斉分析

法の妥当性評価, 第 55 回全国衛生化学技術協議会年会抄録・ポスター発表(神奈川県), 2018 年 11 月.

山田龍之介*, 大門拓実, 清水翔太*, 藤真由美*, 村田勇*, 井上裕*, 金本郁男* *城西大学薬学部:デュロキセチン坐剤の調製とバイオアベイラビリティの評価, 第 28 回日本医療薬学会年会抄録・ポスター発表(兵庫県), 2018 年 11 月.

古井悠賀, 田村彩, 坂田恭平, 大門拓実, 戸川洋子, 高橋邦彦, 濱田佳子: 下痢原性大腸菌検査におけるマルチプレックスPCR法の導入について, 第 20 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県), 2019 年 2 月.

坂田恭平, 古井悠賀, 田村彩, 大門拓実, 戸川洋子, 濱田佳子: 組成の異なる完全試験用乳糖ブイヨン発酵管の比較, 第 31 回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究会抄録・口頭発表(千葉県), 2019 年 2 月.

齋藤恭子, 坂田恭平, 大門拓実, 高橋邦彦, 濱田佳子: LC-MS/MS による食品中のサイクラミン酸分析法の妥当性評価, 地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第 31 回理化学研究部会抄録・口頭発表(静岡県), 2019 年 2 月.

大門拓実(研究協力者):食品衛生検査を実施する試験所における品質保証システムに関する研究, 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金研究, 食品の安全確保推進研究事業.

2017 年度(平成 29 年度)

坂田恭平, 千葉雄介*, 古井悠賀, 田村彩, 高橋邦彦 *埼玉県衛生研究所:Multiplex LAMP 法を用いた *Campylobacter jejuni/coli* の鑑別方法の検討,第 30 回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究会抄録・口頭発表(長野県), 2018 年 2 月.

長浜善行, 大門拓実, 齋藤恭子, 高橋邦彦:越谷市におけるミネラルウォーター類の臭素酸等陰イオン物質の実態調査について,第 19 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県), 2018 年 1 月.

田村彩, 坂田恭平, 古井悠賀, 高橋邦彦:長時間加圧培地を用いた腸管出血性大腸菌の迅速H型別法の検証,第 19 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県), 2018 年 1 月.

大門拓実, 齋藤恭子, 長浜善行, 高橋邦彦:LC-MS/MS による農産物中の残留農薬一斉分析法

の妥当性評価,平成 29 年度食品衛生監視員等研修会抄録・口頭発表(埼玉県),2017 年 6 月.

大門拓実(研究協力者):食品衛生検査を実施する試験所における品質保証システムに関する研究,平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金研究,食品の安全確保推進研究事業.

坂田恭平(研究協力者):地方衛生研究所における病原体サーベイランスの評価と改善,平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金研究,新興・再興感染症及び予防接種他政策推進研究事業.

2016 年度(平成 28 年度)

本庄雅弘,上口卓志,坂田恭平,千葉雄介,高橋邦彦,木下正保:合鴨の食中毒起因菌保菌状況及び食鳥処理場の微生物汚染状況調査,平成 28 年度 1 県 2 市食肉衛生技術研修会抄録・口頭発表(埼玉県),2017 年 2 月.

長浜善行,大門拓実,高橋邦彦:越谷市における FPD-GC による有機リン系農薬一斉分析法の妥当性評価について,第 18 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県),2017 年 1 月.

古井悠賀,千葉雄介,田村彩,坂田恭平,高橋邦彦:収去検査における腸炎ビブリオ類似菌の検出事例について,第 18 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県),2017 年 1 月.

大門拓実,長浜善行,高橋邦彦:LC-MS/MS を用いた農作物中の残留農薬一斉分析法の検討,第 18 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県),2017 年 1 月.

千葉雄介,古井悠賀,田村彩,坂田恭平,高橋邦彦:ベアード・パーカー寒天培地の製品間における性能差の検討,第 37 回日本食品微生物学会学術総会講演要旨集・ポスター発表(東京都),2016 年 9 月.

坂田恭平(研究協力者):地方衛生研究所における病原体サーベイランスの評価と改善,平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金研究.

2015 年度(平成 27 年度)

坂田恭平,古井悠賀,大門拓実,齋藤恭子,千葉雄介,長浜善行,高橋邦彦:越谷市保健所衛生検査課の立上げについて,第 17 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県),2016 年 2 月.

大門拓実,齋藤恭子,長浜善行,高橋邦彦:LC-MS/MS を用いた動物用医薬品一斉分析法の妥当性評価,第 17 回埼玉県健康福祉発表会抄録・口頭発表(埼玉県),2016 年 2 月.

5 所有整備・学会参加等

(1) 主要備品整備状況

主要備品（50 万円以上、リース含む）

令和7年(2025年)3月 31 日現在

機器名	メーカー・規格	台数
リアルタイム PCR	ライフテクノロジーズジャパン QuantStudio 5	2
DNA シーケンサー	アプライドバイオシステムズ SeqStudio Genetic Analyzer	1
サーマルサイクラー	アプライドバイオシステムズ ProFlex	1
サーマルサイクラー	アプライドバイオシステムズ Verti	1
ゲル撮影装置	BIORAD GelDoc Goイメージング	1
位相差顕微鏡	オリンパス BX-43	1
蛍光顕微鏡	オリンパス BX-53	1
光学顕微鏡	オリンパス BX-43	1
マイクロプレートリーダー	テカン Sunrise	1
リアルタイム濁度測定装置	栄研化学 Loopamp	1
細菌検査用ホモジナイザー	エスエムテ- HF93	1
高圧蒸気滅菌器	平山製作所 HVN-50LB、HVN-85LB	5
安全キャビネット	エアテック BHC-1007iiA2S	4
シリンダーキャビネット	大陽エンジニアリング C.C.campus Model-2	1
ドラフトチャンバー	ダルトン DFC14-KC18-A、DFC11-AA18-HAO	2
超低温槽	日本フリーザー VT-208、CLN-52UWD2	2
冷凍冷蔵庫	日本フリーザー NDFR-700EC	3
冷凍冷蔵庫	日本フリーザー KGT-4010HC	1
冷凍冷蔵庫	パナソニックヘルスケア MPR-215F-PJ	2
液体クロマトグラフ タンデム型質量分析計	エービーサイエックス QTRAP triple Quad 5500+/ ExionLC	1
ガスクロマトグラフ タンデム型質量分析計	アジレントテクノロジー 7010B/8890	1
高速液体クロマトグラフ	島津製作所 NEXERA X2	1
分光光度計	島津製作所 UV-2700	1
水蒸気蒸留装置	宮本理研工業 AFR-4DX	1
減圧濃縮装置一式	BUCHI V-850 他	2
顕微鏡デジタルカメラ撮影装置	ニコン DS-L3	1
超高速遠心機	久保田製作所 6000	1
卓上遠心機	トミー精工 LC-230	1
冷却遠心器	日立 CF16RN	1
定温乾燥機	アドバンテック DRG-400AA	2
電子天秤	ザルトリウス SECURA A224-1S	1
超純水製造装置	ミリポア Milli-Q Direct8	1
純水製造装置	ピュアライトPR-0015α-X01	1
ELISA システム	Dynax Technologies DS2	1
次世代シーケンサー	iSeq 100	1
自動核酸抽出装置	QIAcube Connect System	1

(2) 学会、研修会及び会議等

衛生検査における知識・技術推進のため、全国の地方衛生研究所で構成されている地方衛生研究所全国協議会に参加し、各分野の研究会にて情報収集及び提供を行った。

また、その他各種学会等にも参加し、情報収集及び提供を行った。

	名称	開催場所
1	地方衛生研究所全国協議会臨時総会	Web 開催
2	衛生微生物技術協議会総会及び衛生微生物技術協議会研究会	タワーホール船堀
3	関東甲信静支部ウイルス研究部会	神奈川県衛生研究所
4	地方衛生研究所全国協議会総会	北海道立道民活動センターかでの 2・7
5	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部総会	横浜市開港記念会館
6	地方衛生研究所全国協議会精度管理部会研修会	Web 開催
7	地域保健総合推進事業地域レファレンスセンター連絡会議	Web 開催
8	全国衛生化学技術協議会年会	フェニーチェ堺
9	地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック地域専門家会議	Web 開催
10	地域保健総合推進事業第 1 回関東甲信静ブロック会議	Web 開催
11	地域保健総合推進事業第 2 回関東甲信静ブロック会議	Web 開催
12	地域保健総合推進事業技術研修会	Web 開催
13	関東甲信静支部細菌研究部会	大宮ソニックシティ
14	関東甲信静支部理化学研究部会	長野市生涯学習センター
15	レジオネラ・レファレンスセンター会議	Web 開催
16	地衛研 Web Mini セミナー	Web 開催
17	インフルエンザ・レファレンス等関連会議	Web 開催
18	風疹実地研修会	国立感染症研究所村山庁舎
19	希少感染症診断技術研修会	Web 開催